

県民意見整理台帳

1 意見募集期間 令和4年9月29日（木曜日）～10月28日（金曜日）

2 意見募集結果 意見の提出者数 27人 意見の提出件数 110件

(1) 意見内容の概要

区 分	延べ件数
1 スポーツ推進計画全般について	14件
2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて	2件
3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について	23件
4 スポーツを行う習慣の確立について	10件
5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて	0件
6 スポーツ活動の環境整備について	44件
7 アスリートの育成について	0件
8 スポーツの持つ力による地域活性化について	1件
9 スポーツを通じた共生社会の実現について	16件
合 計	110件

(2) 県の考え方の概要

区 分	延べ件数
A 計画に反映したもの	2件
B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいるもの	1件
C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの	101件
D 計画に反映できないもの	0件
E その他（感想・質問等）	6件
合 計	110件

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
1	2	スポーツ実施率を高めるために、子どもの関心から高めていけばいいと思います。大人がいきなり運動するのはむずかしいと思うので、子どもと一緒に運動するというイベントをつくったら動くと思いました。	A	ご意見のとおり、大人と子どもと一緒に身体を動かすことのできる機会の提供が重要と考えており、家族で楽しめるスポーツイベントの開催などの取組を計画に記載しました。
2	3	スポーツ実施率を高めるために、主に小学校(幼稚園、保育園、中学校でも)とスポーツクラブの関係を築き活動する。例として、出張スポーツクラブを行い、成績とは関係なくスポーツをする機会をつくり子供たちにスポーツの楽しさを伝えるなど。	A	ご意見を踏まえ、アスリートなどと連携し、主に小学校を対象とした学校でのスポーツ体験教室の開催について、「アスリートとの連携によるスポーツ体験教室の実施」の具体的内容として計画に記載しました。
3	3	中学、高校の部活指導員を外委委託する。この取組は、一部の私立中学、高校ではすでに始まっており、公立校にも導入すべき。	B	一部の公立中学校・県立高等学校において教員に代わる部活動指導員を配置しています。今後さらなるスポーツ活動の推進に向けて、運動部活動の指導者も含めた環境の整備が重要と考えています。
4	1	スポーツ推進の展望に書かれている基本目標、数値目標を実現するための施策については、スポーツに携わる現場の者との感覚のズレや、革新的な取組の不足を感じる。	C	スポーツ施策の推進にあたり、今後も様々な観点からのご意見をいただきながら取組を進めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
5	1	過去の施策の延長線上でできることが大半を占めているように感じ、スポーツに関する意識調査で明らかになった「スポーツをしない理由」を解消する施策としては、不十分な部分がある。	C	スポーツをしない理由を踏まえ、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
6	1	人材を育成しても、場を充実させても、スポーツクラブの質を上げても、その恩恵にあずかるのは、すでにスポーツをしている人やもっと上手くなりたいと思っている人たちです。スポーツをしない人の不便は解消されないで、スポーツ参加率はほとんど上がらないだろう。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
7	1	スポーツをしない原因を取り除いてあげて、スポーツの価値に気づかせてあげる、そのための地に足のついた施策が必要。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
8	1	スポーツを始めたい、続けたい、もっとたくさんしたいと思われるようにするには、スポーツの楽しさを伝える活動が不可欠です。	C	様々な主体と連携しながら、スポーツの楽しさを普及します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
9	1	実際にスポーツの現場に携わっている団体や個人から希望者を集め、具体的な施策作りの場に参加させる。	C	様々な主体と連携し意見交換しながら、スポーツ施策を推進します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
10	1	県民の意見を聞いて終わりではなく、行政と県民が一体となったプロジェクトチームを作り、施策の検討→決定→実現と最後まで一緒に活動するのがベスト。	C	様々な主体と連携し意見交換しながら、スポーツ施策を推進します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
11	1	イベントや運動への敷居が高いと思います。ゲームと違ってスポーツをするには服を着替えて、何をするかを決めて、(場面によっては)きつい思いをして、やっと達成感が得られる気がします。手軽に運動できるようにするために、可能かどうかわかりませんが、会社、スポーツメーカーと連携してジャージを配布して、出勤や勤務地に着用してかまわないようにすることなどが必要だと思います。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
12	1	1つのスポーツにかぎらず（1会場に1つではなく混ぜ合わせる）スポーツ課だけがスポーツに取り組むのではなく、他の課と横のつながりをもっとつুক্তければ問題解決になると思います。	C	スポーツ施策の推進にあたり、様々な関連分野との連携が必要なことから、様々な関係部局との連携を図ります。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
13	1	1日30分週3日3カ月というのは、私達体育学部でも「多い」と感じていて、一般の方たちはもっと壁を感じてしまうのではないかと思います。学校とバイトなどのある学生、仕事のある社会人、家事育児をしている方たちは、そのハードルの高さから運動への距離をとっているのではないかと思います。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
14	1	「スポーツ推進」というどうしても「スポーツ!」「週〇日!」という言葉が出てきがちですが、もう少し日常に気軽に組み込みやすいものをアピールし、ハードルを下げていくことがまずは必要だと思います。	C	中々スポーツをする機会がない、運動が嫌いなどの層の課題を踏まえ、多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
15	1	スポーツ実施率を高めるために、イベントの開催をする。例えば、著名人を呼んだり、複数の日時で開催すること、初心者が行いやすく、始めやすいスポーツを選定するなど工夫はどうか。	C	10月を「県民スポーツ月間」としてスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、様々なスポーツイベントや体験会などを開催します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
16	1	各イベントを老若男女ではなく、ある一定数の年齢層に限定するなどターゲットを絞ると参加者が増えるのではないかと。	C	10月を「県民スポーツ月間」としてスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、様々なスポーツイベントや体験会などを開催します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
17	4	ほとんどのスポーツはサークルやクラブ等、何らかの団体に所属して行うことが前提になっており、マイペースで都合の良い時だけ参加するというのが難しい側面がある。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
18	6	興味を持った人の第一歩として、競技の魅力を伝える講座や、個別体験会を希望の時間に受けられるようにする。	C	競技の魅力を伝える取組として、東京2020大会のレガシー事業としてのセーリング体験会や、レクリエーション協議の体験イベントを開催しています。個別体験を希望の時間に受けられる取組として動画を用いた「おうちde3033」などに取り組んでいます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
19	6	行政主導のスポーツイベント・教室等に（競技団体ばかりでなく）個人指導者も採用する。	C	誰もがスポーツに親しめる環境づくりのためには、指導者、専門スタッフ、スポーツボランティア、サポーター、経営人材等、スポーツを「支える」多様な人材の育成及びその活躍の場の確保が重要と考えています。誰もがスポーツに親しむ機会の充実に向けて、スポーツイベントやスポーツ教室の開催に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
20	6	スポーツを身近なものにするために、お金がないと指導を受けられない、遠くまで行かないと指導を受けられない現状も変える必要があります。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
21	6	現状、個人で活動している指導者は、スポーツ指導だけで生計を立てるのはほぼ不可能です。	C	個人で活動しているスポーツ指導者も含めたスポーツを「支える」人材の活躍の場の確保は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
22	6	個人の方では指導場所を確保できない、知名度がないと集客が難しい、指導してもらいながらスポーツをする文化が醸成されていない（特に社会人）、こういう様々な要因がスポーツ指導を困難なものにしています。	C	個人で活動しているスポーツ指導者も含めたスポーツを「支える」人材の活躍の場の確保は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
23	6	運動習慣の確立のために犬の散歩を習慣化させる。犬を飼い、散歩をさせる。そのために、ドッグランを増やすことやお散歩ロードをつくること、補助金を設けて犬を飼いやすい環境をつくるなどの対策をしても良いと思う。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
24	6	スポーツ実施率を高めるために、施設を借りやすいシステム整備も必要であると考ええる。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、手続きの簡素等を含めたサービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
25	4	調査結果から、成人がスポーツをしない理由は、機会がない、時間がない、場所がない、興味がない、お金がない、この5つの「ない」に集約できると考える。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
26	4	スポーツをする機会がないのは、人材や場やスポーツクラブの問題ではなく、そもそも団体やクラブへ参加すること、個人でスポーツをすることの障壁が高いため、自分から機会を作ろうという気にならないのが原因と思われる。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
27	4	会社に部活がなかったり、周りに誘ってくれる人がいなかったりするとそこで諦めてしまい、社外のサークルに入ろうとか、周りに誘われないなら自分から誘おうという発想にはならない。そこには、自分から行動を起こすことに対するハードルの高さの問題があると考ええる。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
28	4	仕事等が忙しくて時間がないことについては、全く時間がないというより、少ない自由時間をスポーツに当てようと思えないことが原因と思われる。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
29	6	スポーツに興味がないのではなく、時間がある時にマイペースで参加できる環境がないことが問題だと考える。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
30	4	親のスポーツ参加率が上がれば、必然的に子どもの参加率も上がる。したがって、成人のスポーツ参加率を上げることが極めて重要な課題と考える。	C	成人のスポーツの参加を促進することは重要と考えています。多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
31	2	子どものいる家庭の親は、子どもが行っているスポーツに顔を出したりする事があるので、子どものスポーツ実施率をあげれば大人もスポーツをする割合が増えると思いました。子どものスポーツ実施率は幼稚園・保育園などにクラブ活動を導入することであがるのではないかと思います。私の行った実習園では体操クラブにクラスの2/3以上の園児が入っていました。	C	子どもの頃から日常的に体を動かす習慣づくりが大切であると考えており、幼稚園、保育園等へのスポーツ指導者の派遣や親子でできる体操の普及などの取組を推進します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
32	3	中学校における運動部活動の地域移行について具体的な進展が見えない。（誰が、どのように動くのかわかりやすい提示が必要）課題のわりに周りでは一向に動きがない。（やる気はあるのか）学校と地域が動かないと進まない課題である。	C	運動部活動の地域移行については、人材や場所の確保、財源負担の問題など様々な大きな課題がありますが、学校と地域が連携した円滑な地域移行に向けて、県・市町村の連携体制や市町村の実情に応じた支援などに取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
33	3	中学校における運動部活動の地域移行について既存活動団体への影響を与えず、活動場所の取り決めは必須。	C	運動部活動の地域移行については、活動場所の確保は大きな課題と考えています。スポーツ団体や関係者との連携等を含め円滑な地域移行に向けて取り組めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
34	3	部活動の地域移行は何をもって成功とするのか、部活動を強くするためであるならば、事故やケガ等の責任は誰がとるのか。強くするであれば専門知識がある人に一任するしかないが、部活に入りづらくなり運動不足になる人が増える。	C	運動部活動の地域移行については、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実などを目指して取り組んでいます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
35	3	部活動の地域移行は色々な人に参加してもらうことが成功なのか。楽しむ人が増えてほしいのであるならば地域の父母が参加することがいいのでは。そのかわり競技力が低下する。	C	運動部活動の地域移行については、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実などを目指して取り組んでいます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
36	3	部活動の地域移行について、成功のためには、指導者の育成機関を大きくすることと、施設の量を増やすことです。指導者の質が高くなったり、人数が増えれば友人に誘われるなど、参加するきっかけも多くなると思います。また、学校への働きかけが大切だと思うので、例えば高校生チームが地域の子どもや大人たちに向けてクリニックを開いたりする機会をもっと増やすのも良いのかなと思いました。	C	運動部活動の地域移行については、指導者などの人材や活動場所の確保は大きな課題と考えています。スポーツ団体や関係者との連携等を含め円滑な地域移行に向けて取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
37	3	スポーツ人口を増やすには、学校の体育の授業の領域にアダプテッドスポーツを取り入れてみるのも良いのかなと思いました。なかなか自分から進んで新しい環境に入るのは難しいので、学校で気軽にできる機会が大切だと思います。	C	現在、中学校や高等学校の体育の授業では体力や技能の程度、性別、障害の有無等に応じて、練習の仕方やゲームの修正に合意し、様々な違いを超えて、参加者全員が楽しめるための工夫をすること等を学習しており、「共生」の視点を踏まえた授業に取り組んでいます。また、バラスポーツを授業や球技大会等に取り入れている事例もあります。いただいたご意見は、「共生」の視点につながるものと考え、今後の取組の参考とさせていただきます。
38	3	部活動の地域移行をすると運動部に入る人が少なくなるのではないかとことです。クラブには強い子がたくさんおり、比較・競争が激化します。そのため、脱落者はスポーツへの負い目を感じると思うので、レクリエーションスポーツやマイナースポーツを体験できる体育授業・部活・イベントがあるといいな、と思いました。	C	運動部活動の地域移行については、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実などを目指して取り組んでいます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
39	3	部活動の地域移行について、制度を広めるために、地域の運動会などで呼びかけを行うと拡散につながる。	C	運動部活動の地域移行の制度周知や理解促進に向けて、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
40	3	部活動の地域移行は、競技人口が少ない部活はコーチがみつかりにくいので、複数のチームで合同練習などを実施する。	C	運動部活動の地域移行については、指導者などの人材の確保は大きな課題と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
41	3	部活動の地域移行に関して、競技によっては専門の指導者の人材不足やその制度が確立するまで学校によって指導者から受けられる指導の差から公平不公平があり、強さに差が生じることが課題であると感じる。指導者の人材発掘に関して部活動のOB・OGに声をかけて協力をもらったりそのような体制がスムーズにできるように変わっていったらいいと思う。	C	運動部活動の地域移行については、指導者などの人材の確保は大きな課題と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
42	3	部活動の地域移行について、日体大のような教育学部で実際に部活動で教える授業をつくることや、指導者の資格試験に合格した大学生がアルバイトとして指導することが有効な方法ではないか。また、部活動に参加したい地域の人がいれば参加自由にして、指導者になりうる人がいればコーチしてもらおう。	C	運動部活動の地域移行については、指導者などの人材の確保は大きな課題と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
43	3	部活動の地域移行についてのメリットとして、専門的に競技に関わっている人を呼ぶことでさらに専門的にできる。デメリットとして、競技人口の多い少ないでは指導者の確保が限られてくる。学校の先生と係わる時間が減ること、地域によって進度が異なり、差が出てくると思う。	C	運動部活動の地域移行については、指導者などの人材の確保は大きな課題と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
44	3	部活動の地域移行に関して、先生の負担軽減ができる。外部の人を指導者として呼ぶことで、その人の関係者へと、外部と関わることができる機会も増えるのではないかと考える。指導者確保のために「～を探しています」「～な人いますか」等の具体的な告知をすることが大切ではないか。	C	運動部活動の地域移行については、指導者などの人材の確保は大きな課題と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
45	3	部活動の地域移行は、地域移行という言葉を知らない人が多いと感じたため、まずは、こういう制度を始めているということを広めて、周知してもらうことが重要だと感じる。	C	運動部活動の地域移行の制度周知や理解促進に向けて、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
46	3	もっと部活動の地域移行を知ってもらうために学校行事で告知することや、まわりの人に広めてもらうことが必要でないか。	C	運動部活動の地域移行の制度周知や理解促進に向けて、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
47	3	部活動の地域移行について、貼り紙をしたり、体育大学（普通の大学でも）に求人を出したり、学校で手紙を配ったりする等して、広めることが大切だと思います。友達や知人紹介してくれる人もいると思うので、積極的に求人を出すことが有効かなと考えました。	C	運動部活動の地域移行については、指導者などの人材の確保は大きな課題と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
48	3	部活動の地域移行について、私は、バントワリングと特殊で部活などにあまりない競技だったので、クラブチームで活動していました。地域のクラブチームと合同練習や見せ合いなどをすれば、学校の良さ、クラブチームの良さがわかり合えて競技がより楽しめると思いました。	C	運動部活動の地域移行については、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実などを目指して取り組んでいます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
49	3	部活動の地域移行について、町の人々に部の活動を知ってもらうこと、地域まつりをもっと開催し、部活動と連携していくこと、スポーツを指導しやすい環境、システム整備、指導者への支援などが必要である。また、顧問とコーチを別々で採用することで、休日はコーチが監督、指導をすることができるのではないかと。	C	運動部活動の地域移行については、地域との連携、指導者などの人材の確保、制度周知や理解促進などが重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
50	3	運動部活動の地域移行について、顧問募集の広告をもう少し広めてほしい。副業として利用したりできる。	C	運動部活動の地域移行については、指導者などの人材の確保は大きな課題と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
51	3	部活動の地域移行において、平日でも外部指導者が訪問することが有効だと考える。理由は生徒たちに少しでも親しんでもらい、顔見知りになることで指導が浸透しやすい。中学校バドミントン部所属時に、友達のお父さんが臨時コーチとして来校していた。	C	学校におけるスポーツ活動の推進に向けて、運動部活動の指導者も含めた環境の整備が重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
52	3	スポーツ実施率を高めるために、主に小学校（幼稚園、保育園、中学校でも）とスポーツクラブの関係を築き活動する。例えば、親子スポーツ体験などのイベントのお知らせを学校を通して行うなど。	C	子どもがスポーツに取り組めるよう、地域におけるスポーツ活動の機会提供や普及促進は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
53	4	あえて危険のあるスポーツ（クライミングなど）を子どもが実施することで、保護者も参加することになり、自ずと、効率良く、実施者も増えるのではないかと考えました。	C	子どものスポーツ実施について、保護者に対する普及・啓発とともに、大人と子どもと一緒に体を動かすことの喜びを体験でき、安全にスポーツや遊びを実施できる機会の提供に取り組んでいく必要があると考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
54	4	スポーツ実施率を高めるには、“スポーツ”とか“運動”と敷居を高くせずに音楽とか読書とかのイベントと一緒に気づいたら運動をしているようなことを企画する。	C	ライフスタイルや興味に応じて、気軽にスポーツを実践できるよう機会の提供に取り組んでいく必要があると考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
55	6	スポーツジム等を主婦や学生などが気軽に通えるような所にする。	C	誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
56	6	スポーツ実施率を向上させるために、ジムなどがある場所を知らない人も多いと思うので知る機会を作る。（SNSが普及しているからインスタなどでの宣伝をすると興味を示しやすくなるかなと思いました。）	C	スポーツを実施できる場所や機会の情報発信は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
57	6	総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供について、活動場所の確保・提供が最大の課題である。（場所がない。）	C	地域におけるスポーツ活動を推進するため、スポーツ環境の基盤となる「場」の充実に取り組むにあたり、活動場所の確保や提供は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
58	6	県立スポーツセンターのスポーツ推進拠点としての整備について、推進の活動場所（体育館など）が不足している。希望の日での場所確保は出来ません。	C	県立スポーツセンターについて、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努めるとともに、県立学校体育施設の開放等に取り組めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
59	6	県立スポーツセンターのスポーツ推進拠点としての整備について、高齢者も集えるコミュニティも既存の場所ではなく、新たな設置も求めたいです。	C	誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
60	6	県立学校体育施設や大学・企業等のスポーツ施設開放の推進について、総合型クラブと運動した開放も必要です。	C	スポーツ活動を広げる環境づくりを推進するために、地域における様々な主体が連携しながら取組を進めることは重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
61	6	県が管理するオープンスペースの有効活用について、情報のフィードバックが必要である。有るのかも不透明です。	C	県が管理する登山道やサイクリングコースなどは、県のホームページ等で発信しています。引き続き、情報発信等に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
62	6	県内スポーツ施設の整備について、県立体育館が郡部でなく横浜にも必要です。	C	県立学校体育施設の開放など既存施設の有効活用など、スポーツ活動の場づくりを推進します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
63	6	総合型地域スポーツクラブの質的充実について、実態を把握したうえで相互の意見交換は必須。	C	総合型地域スポーツクラブの質的充実に向けて、実態把握や関係者との意見交換は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
64	6	一人一人が思い立った時、すぐに低料金で簡単にスポーツができるようにすることが不可欠だと考える。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
65	6	未経験者や初心者でも楽しく参加できてリピート利用したいと思える環境づくりをすることが不可欠と考える。 市のスポーツセンターや学校の体育館を利用していますが、いずれも団体が利用することが前提となっており、スポーツを始めてみたいと思った人が簡単に使える施設がないことが一番の問題だと考える。 また、スポーツ施設の問題点について、団体でないスポーツ施設を予約できないうえ、団体申請のハードルが高く、容易に申請できない。例えば、ある市では、利用料の優遇を受けられる市内団体登録の条件として、10名以上で市内在住・在学・在勤者が2/3以上いることと当該者全員の市内在住・在勤・在学の確認できる書類の提示を義務付けている。市外団体として登録すると利用料が2倍にもなり、コスト面から利用を躊躇してしまう。神奈川県民であっても神奈川県内で利用できる施設が限定されるのが実情。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
66	6	スポーツ施設の問題点について、抽選に当選しないと利用できず、抽選は2か月前に申し込まなければならない。また、人海戦術で組織的に申し込まないとなかなか当選しないうえ、当選後にキャンセルする団体も多く、効率よく利用されていない。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、開所日の拡大等のサービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
67	6	スポーツ施設の問題点について、ほとんどの施設で、個人が施設を利用したいと思ったら、個人開放している日に早くから並ぶしかなく、並んでも人数制限により使えないことがあるため、事前に計画を立てるのも容易でない。こういう事情から個人利用のハードルが極めて高い。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、手続きの簡素化等のサービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
68	6	スポーツ施設の問題点について、個人利用は、複数のグループの間で時間やスペースを分け合って利用する運用をしている施設がほとんどで、思ったような練習ができない。バドミントンの場合、1グループにつきコート半面しか使えないためゲームができない、1コート占有できても15分たったらゲーム途中でやめて別のグループと交代しなければならない等、競技の魅力を損なわせる運用になっている。運用側の都合（運用のしやすさ）を優先して利用者の満足度を意識していない。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、サービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
69	6	競技未経験者や初心者にとっては、レベル差が大きすぎていきなり団体に所属するにはハードルが高い、かといって個人や小グループで施設を利用するにもハードルが高いという、八方ふさがりの状況となっており、それが理由でスポーツ参加をあきらめている人が相当数いると思われます。こういう不満や状況を解消するには、スポーツに参加しやすい環境を作るかなり踏み込んだ施策が必要と考えます。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
70	6	公共のスポーツ施設の開館時間を延長し、個人利用者へ開放する。競技に精通した指導員を常駐させ、来館者一人一人がストレスなく楽しめるようサポート、管理する。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、開所日の拡大等のサービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
71	6	誰でも簡単に利用できるよう、個人利用者を対象とし、予約なしで一人から参加できるようにする。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、手続きの簡素化等のサービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
72	6	一人でも楽しめるよう、競技の技術を教えるだけでなく、今後も続けていきたいと思わせる魅力や楽しさを伝えられる指導員を配置し、同時に全体の活動も適切に仕切る。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、サービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
73	6	スポーツ施設を無料または低価格で開放する。私設のスポーツクラブでは低価格での運営は難しいと思われるので公共の施設で行う。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、サービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
74	6	帰宅途中に立ち寄れるよう、主要駅や乗換駅を中心にできるだけ多くの施設を開放し、仕事の忙しい人でも会社帰りに利用できるよう、23:00か24:00まで開放する。さらに個人ロッカーを設置して手ぶらでも来られるようにする。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
75	6	利用者の利便性が高まるよう、公共施設予約システムを全面リニューアルする。個人利用の予約ができるようにし、仮予約キャンセル率（特に直前キャンセル）を下げる仕組みや当選率を公平にする仕組みを導入する。また、個人利用予約枠を設けて、団体だけでなく個人が小単位で予約できるようにする。バドミントンを例にすると、1コート単位で予約できる個人利用限定の日や時間帯を設ける。仮予約を廃止し、予約の直前キャンセルをできなくする。あるいは、仮予約後キャンセルの実績が多い団体や個人の当選確率を下げる。大人数で組織票を入れる人海戦術を使って当選確率を上げられないよう、過去の当選確率の高い団体には当選確率が自動的に下がるようにする。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、手続きの簡素化等のサービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
76	6	個人で活動するスポーツ指導者の活躍の場を増やす。	C	誰もがスポーツに親しめる環境づくりができるよう、スポーツの指導者の確保、育成は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
77	6	公共スポーツ施設で積極的に各種競技の指導員を採用する。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、サービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
78	6	一部は常駐またはそれに準ずる指導員とし、利用者の都合やニーズに合わせた競技指導や競技の魅力を発信する活動をスピーディーに行えるようにする。	C	県立スポーツ施設について、引き続き利用者のニーズに応じた施設の管理運営に努め、サービス向上に努めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
79	6	公共スポーツ施設、公立小中学校で、（競技団体ばかりでなく）個人の指導者がスポーツ教室を開催できるようにする。現状、地域住民を中心とした団体でない、実質的に施設や学校を利用できなくなっているのはどうなのか。	C	アスリートとの連携による小学校等でのスポーツ体験教室を実施しています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
80	4	スポーツ非実施者へのアプローチとして、地域にスポーツをする場所があると通いやすいと思う。また、ジムなど入りやすい雰囲気があると参加する人も増えるし、無料もしくは県民割りで気軽に利用できるスポーツセンターがあると通いやすい。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
81	6	身近に指導員がいて、誰でも等しく指導を受けられる環境を作ることが重要と考えます。	C	誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
82	6	日本スポーツ協会公認指導者資格を有する者なら、スポーツインテグリティ、安全管理、年齢に合わせた指導法など、スポーツ指導に必要な知識と技術を持っているため、安心して任せられます。	C	グリーンでフェアなスポーツの推進のために安心してスポーツができるよう、スポーツ指導者の質的向上は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
83	6	本気でスポーツを普及させたいのなら、スポーツ指導者の活躍の場を作るのも行政が担う重要な仕事ではないでしょうか。	C	スポーツにかかわる多様な人材の育成と活躍の場の確保ができるよう、個人で活動しているスポーツ指導者も含めたスポーツを「支える」人材の活躍の場の確保は重要と考えています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
84	6	スポーツ実施率を上げるためには、まずスポーツと関わる場を提供する必要があります。「する」はハードルが高いと感じる人も「見る」「支える」なら、やってみようと思えると思います。無料招待で観戦しただけだと、実施につながりにくいけれど、観戦後やハーフタイムに実際にフィールドやフロアに立ってボールを触ったり、観客の歓声の中で少しプレーすると「する」楽しさを知り、実践していく人が増えると思います。また、私がスポーツ観戦を続けたり、やってみようと思える理由は一緒に見に行ったり、プレーしてくれる友達が多かったからです。1人では継続できなくても、周りの環境で実施率は変化すると思います。また、マイナースポーツに注目して盛り上げていくことが良いと思います。新しいことにチャレンジしたい、自分が代表選手になれるかもときっかけを作りやすいのは、マイナースポーツだと思います。	C	ご意見の趣旨のとおり、スポーツへのかかわり方として、スポーツを「する」ことだけでなく「観る」「支える」こともあり、すべての人々がスポーツを「する」「観る」「支える」ことで、スポーツの価値を共有することができると考えています。誰もがスポーツに親しめる環境づくりに向けて、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
85	6	受け皿の少なさが問題にある。県からのスポーツ機会の場を作っているが知らない人が多い。	C	身近な場所でスポーツを行う環境づくりを進めるとともに、それらをより多くの県民の方々に知っていただけるようスポーツ情報の提供にも取り組めます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
86	6	ジムやスポーツクラブの使用時間帯を女性限定、男性限定、〇歳以上限定など、ある程度の制限をかけることで普段運動をしない人にとってもスポーツに触れやすくなるのではないかと考える。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
87	6	スポーツ実施率を高める方法として、チケット制（または無料）で好きな時に参加出来るスポーツ施設が身近にあれば、好きな時に自分が興味のあるスポーツを体験することができ、更に、毎週の習い事とは違って行かなくてはいけないという義務感を与えずにスポーツができるのでスポーツに対する苦手意識やモチベーションの低下を防ぎつつ自分に合ったスポーツを見つけることができるのではないかと考える。	C	多様なライフスタイルや、興味、目的、体力に応じて、誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
88	8	地域の良さをもっと売り出し、非日常の体験ができるようにするとスポーツの魅力が増す。	C	地域の魅力を生かして、スポーツを普及するための効果的な取組を検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
89	9	女性のスポーツ実施率の低さは大きな問題だと思います。問題は仕事と子育ての両立をはじめ、さまざまです。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
90	9	無意識のうちに”女性らしさ”を求められる社会の中で、スポーツと女性が遠ざかってしまう場面、要因があるのではないかと。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
91	9	女性のスポーツを普及させるために教育の改善があると思います。体育はもちろんですが、保健の授業で”生理現象”として月経について、生活に根ざした授業をするなど、改善するべきことが沢山あるのでは、と感じます。”生殖機能”として”妊娠”などと絡めて授業をすることが一般的だと思いますが、それに苦しむジェンダーマイノリティがいる事実も知り、セックスとジェンダーの区別や、女性を含む人権とも絡めた授業など、「保健」の授業でできることがたくさんあると考えています。	C	女性のライフスタイルの多様化や女性特有の体調の変化などの課題を踏まえ、女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
92	9	スポーツ実施率を上げるために、女性へのスポーツへのアプローチが必要である。収入が少なく、共働きが多い、子供ができてしまうと機会の減少が問題にある。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
93	9	女性のスポーツ実施率を高めるために、コークオンのように、メイク道具や服のクーポンがもらえることや、スポーツを始めるきっかけづくりとして、スポーツクラブなどを知るきっかけをつくる。また、生涯通して安い料金で（年会費）通える施設や集まりをつくることや、有名な人を招きイベントを実施することも有効ではないかと考える。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
94	9	女性のスポーツ活性化において、スポーツに対する敷居が高いと感じる。ジムや、地域のクラブには、スポーツが得意な人しか行けないというイメージがある。そのため、女性もつと入りやすい雰囲気したり、体験しやすいイベントなどを設けられると良いと感じた。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
95	9	女性のスポーツ実施率向上について、女性のスポーツチームを増やすとやりやすい。また、女性専用のジムとか入りやすい環境を整える。それらの団体や場所を文化祭・コンクールなどの興味がある人が集う場で公募する。また、私立の女子高でもスポーツに触れる機会を作る。私立の中高一貫校、女子校にはまずスポーツに親しみが無かったです。それが1つ目の女性のスポーツ減少につながっているのかもしれないです。公立やスポーツの強い学校以外にも目を向けるとスポーツ実施率が上がるかもしれない。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
96	9	非実施者（特に女性や無関心層）へのアプローチとして、女性は、結婚してしまうと育児や家事などすることが多いので、スポーツをしたくてもする時間がないことも考えられる。少しの時間でも気軽に始められるようなスポーツがあるとスポーツをやりやすくなると思うので、それらの存在を広めることがいいと思う。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
97	9	女性のスポーツ実施率を高めるには、人気な俳優やアイドル、最近流行しているユーチューバーなどをゲストと呼び、ダンスイベントなどを実施する。また、流行のK-POPなどのダンスイベントを無料で実施し、来場者にはプレゼントの用意など、特に化粧品などは女性の関心が高い。シニア層にはウォーキングで公園一周したら商品券プレゼント！など。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
98	9	女性のスポーツ実施率を高めるには、おうちで出来る運動、例えばヨガ・ピラティスなどをリモートで行うことでヨガスタジオへの興味をもたせ、初級コースなど自分のレベルにあったものに通うようになる運動を継続することが自己肯定感アップにつながるのではないかと。また、スポーツメインよりコミュニティを大事にするグループを作るなど、グループで活動すれば不安感が減り、その場や人を好んでスポーツする環境に行きたくなくなると考えられる。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
99	9	女性のスポーツ実施率を高めるために、設備を整える。道具をそろえておく、服装など着替えることがめんどくさい。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見内訳

1 スポーツ推進全般について/2 楽しみながら行うスポーツへのきっかけづくりについて/3 スポーツに親しむ意欲や態度の育成について/4 スポーツを行う習慣の確立について/5 スポーツを通じた健康・生きがいづくりについて/6 スポーツ活動の環境整備について/7 アスリートの育成について/8 スポーツの持つ力による地域活性化について/9 スポーツを通じた共生社会の実現について

意見の反映状況（反映区分）

A 計画に反映しました/B 既に計画（見直し素案）に盛り込んでいます/C 今後の参考とします/D 計画に反映できません/E その他（感想・質問等）

意見番号	意見内訳	意見の概要	反映区分	県の考え方
100	9	最近ジャニーズ・アイドルだけでなくプロ野球選手などの“推し”を作る人が増えているので、推しをスポーツイベントに活用し、女性の集客に生かせないか。 行政とプロスポーツチームが連携してできることに例えば神宮球場での試合でイベントを実施する。 (例) ヤクルトマンナイター ヤクルト配布、ヤクルトマン（ゆるキャラ）登場一始球式 (例) 北海道ナイター 苫前メロン先着プレゼント、驚き	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
101	9	「障害者スポーツ」というよりも「運動に対して困難さがある人」という捉え方を。怪我・産休など「したくでもできない」人、「苦手意識が強い」人も考え方によっては障がいと捉えても良いのではないかと。 障害者スポーツとして打ち出すのではなく、1つのレクリエーションとして誰もが楽しめるレクリエーションを考えてほしい。	C	県ではパラスポーツを「障がいのある人がするスポーツ」という考え方から一歩進め、「すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えること＝『かながわパラスポーツ』」と捉え取組を推進します。こうした観点から県民誰もがスポーツに親しめる機会の充実に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
102	9	女性のスポーツ実施率を上げるために、参加しやすいイベント(ジムの施設を1日主婦の方達の為に解放など)で運動するきっかけを作る環境をつくってあげることが大事だと思う。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
103	9	女性がスポーツに積極的に参加できるようにするには、手軽に・手軽に・適度にできることが大切であると思う。種目としては、ダンスを勧める。私が取り組んでいる種目であることもありますが、音楽さえあれば場所を選ばずにできることがメリットである。また、自分のできる範囲の強度で取り組みやすい。	C	女性が多様なライフスタイルに応じて気軽にスポーツができるよう場づくりや機会の提供に取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
104	9	女性は、子どもが生まれると必然的に子どもと過ごす時間が大半になり、なかなかスポーツに取り組む時間を作ることが難しくなってしまう。そのため、親子でできる体づくり運動やリズムダンスといった子どもを交えた運動プログラムがあると良いのではないかと。	C	親子ふれあい体操など親と子どもと一緒に取り組むことができる運動プログラムを紹介しています。また、女性のスポーツ実施について、子育て中などスポーツができない理由を踏まえた普及促進や環境づくりに取り組みます。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
105	1	スポーツ推進の展望に書かれている基本目標、数値目標、施策の基本的な方向については、私の目指す姿とも合致してい、強く同意する。	E	誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツ社会、前向きで活力ある社会・共生社会の実現に向けてスポーツ推進施策を進めます。
106	4	未病の改善や健康寿命の延伸の観点からも、スポーツをしない成人のスポーツ参加率を上げないとならないのは明白だ。	E	誰もが気軽にスポーツができる場づくりや機会の提供について検討します。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。
107	6	総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供について、具体的な施策が見えない。(例示いただくと分かりやすい。)	E	「総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供」の具体的な取組内容として、レクリエーションスポーツをはじめとするスポーツ活動の機会提供を記載しました。
108	6	総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ活動の機会提供について、県下の特別行政区との活動の切り分けはあるか。	E	政令市と一般市町村との切り分けはありません。
109	6	県立学校体育施設や大学・企業等のスポーツ施設開放の推進について、実績として開放の実績はあるのか。	E	これまで県では、県立学校体育施設や大学スポーツ施設の開放を行いました。今後、企業等に対してもスポーツ施設の開放に向けた働きかけを行います。
110	6	スポーツ教室を営利活動とみなし、利用を認めないのはいかがなものか。	E	県立施設については、施設管理者による利用条件により使用できない施設がありますが、条件付きで営利利用を認めている施設もあります。